



組織的に取り組もう



6月8日・15日、西部教育事務所管内の「学力向上対策コーディネーター研修会」を開催しました。

業務に組織的に取り組むためのキーワードは「共通理解・共通実践」、そして「マネジメント」です。

学力向上対策にかかわらず、どのような業務も教師各々の指導力に任せ、それぞれの解釈で進めようとするとうまくいきません。マネジメントの方法を学び、1年間の業務の見通しをもつ研修を行いました。

学力向上対策を組織的に行うためには、

- ①課題把握 ②取組推進 ③職員集団

の3つのマネジメントが必要です。全員で出し合った取組のアイデアの中から、自分の学校に合った取組を推進する方法を探りました。

参加者の声

今年度から担当になって、あまり分かっていないままに過ごしてましたので、情報交換をしたり、資料を提示していただいたりして、自分の役割がやっと見えてきました。

コーディネーターの行う仕事の内容がよく分かった。年間計画表を作ってみて、1年間の仕事の配分が整理できてよかった。他の学校の先生と話ができて、悩みや課題の共有化や、解決の糸口を見つけることができた。

アイディアを持ち寄って総合すると、効果的で充実した研修計画が組めそうだなと思いました。何でも自分が進めなければというプレッシャーもありましたが、みんなで分担していくべきだとわかってよかったです。

学級経営スキルアップ研修会 大盛況！！

参加申し込み：0954-23-3332 ご希望の方は小嶋・藤家あて直接お電話ください。

5月25日18名、6月1日26名、6月29日29名の参加を得て開催しました。管内の若手の先生方がともに学び、情報交換しながらつながっている様子を頼もしく感じます。研修後には所員との本音トークも。

<今後の予定>

第4回：7月23日（月）17：30～

「西部型授業での授業づくりのポイント」「授業づくりで困っていること」

第5回：7月30日（月）17：30～

「こんな手立てはどうか？」「2学期からできる、子供の主体性引き出し方改革！」

途中まで、途中からの参加、ぎりぎりの申し込みでも大丈夫です。一緒に授業のこと、子供たちのことを語り合い、明日からできる指導技術を身に付けましょう。



児童・生徒との関係づくり



新学習指導要領 第1章 総則 「第4 児童（生徒）の発達の支援」には、「学習や生活の基盤として、教師と児童（生徒）との信頼関係及び児童（生徒）相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること。」とあります。

学級経営がうまくいくことと、児童・生徒との関係づくりがうまくいくことは深い関連があります。

教師と児童・生徒との関係づくりのキーワードは「信頼」です。決して「上下」や「優劣」ではありません。

では、信頼関係を築くためにはどのようなことに配慮すればよいのでしょうか。また、具体的にどのような行動をすればよいのでしょうか。日頃の児童・生徒とのかかわりをチェックしてみましょう。

チェック

はい

いいえ



WEST 学力向上だより
第1号「社会人として心がけること」を実践しています。



社会人としての振る舞いができないと、信頼の第一歩は獲得できません。「先生、整理が下手だね。」「先生、言葉遣いがよくないよね。」など、子供たちも感じるようになります。

はい

いいえ



自分の機嫌に左右されず、子供たちに接しています。

気分によって対応が変わる先生、不機嫌な先生には、声を掛けたり相談したりしづらいものです。常に気持ちの安定した状態で学級・子供たちと関わりたい。また、ダメなことはダメと指導できる公正さも必要です。

はい

いいえ



子供たちの行動の背景を考えています。

教師には突然始まったように見える子供同士のトラブルも、言い分があったり、間接的に影響する出来事が隠れていたりします。いい子に思われたくて無理をしている場合もあります。行動の背景を、可能な限り子供に寄り添って考えましょう。

はい

いいえ



子供たち同士の関係をつかみ、その変化に気づいています。

学級は集団で生活する場ですので、様々なコミュニティが発生します。子供たち一人一人の人間関係、グループ内の人間関係、グループ同士の関係性など、時にはその関係性や変化がストレスになることも。困ったり悩んだりしていることに気づいたときには、声をかけてください。

はい

いいえ



全ての子供たちが活躍できる場面を意図的に仕組んでいます。

自分の学級を振り返ってみましょう。発言力のある子、影響力のある子を中心に、学校生活が動いていませんか。目立たなくともコツコツ努力を重ねている子、毎日の生活を頑張っている子にも光を当て、クラスの中でなくてはならない存在として賞賛する場を仕組みましょう。

学習規律

身に付けていますか？



学力の向上を図るためには、子供主体の授業づくりとともに、子供が落ち着いた環境の中で学習できるための学習規律を身に付けさせることが必要です。そのためには、全職員で共通理解し、継続して指導していくことが大切です。

一方、子供たちは、学習規律の必要性を理解しているでしょうか。なぜ、休み時間のうちに授業の準備をするのか、なぜ、チャイムが鳴った時に席についておくのか、なぜ、発表者の方を向いて聞くのか……。

「先生が言うから守っている」のであれば、真に身に付いた力とは言えません。

子供たちと一緒に、学習の約束事のもととなっているものを考えてみる場を設定してはいかがでしょうか。

模擬授業研修会

- 学力向上班の力を結集し、現在着々と準備中！
- 校種・教科を越えた参加も大歓迎です。申し込みをお待ちしております。

8/2 唐津会場

8/3 武雄会場

- 小学校外国語活動 9:00～
- 中学校国語 13:30～